

外壁用遮熱塗装工法

# クールテクト®工法

## 水性

低汚染・超耐久型水性ふっ素樹脂系遮熱塗料

水性クールテクトF

低汚染・超耐久型水性アクリルシリコン樹脂系遮熱塗料

水性クールテクトSi

## 弱溶剤

低汚染・超耐久型ふっ素樹脂系遮熱塗料

クールテクトF

低汚染・超耐久型アクリルシリコン樹脂系遮熱塗料

クールテクトSi

省エネは壁から

新築

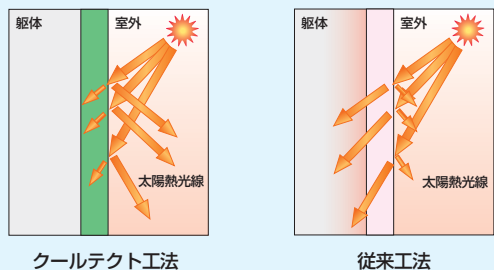
塗り  
替え

# 太陽光による外壁の温度上昇を低

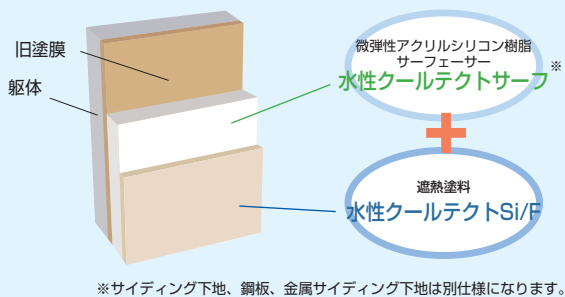
クールテクト工法は微弾性を持つ下塗り層と、遮熱性・低汚染性を持つ上塗り層で構成され、太陽光による外壁の温度上昇を低減させる外壁用遮熱工法です。従来の外壁用塗料と比較して、塗膜裏面温度を最大 $-17^{\circ}\text{C}$ 低減します(当社規定のランプ試験による)。外壁を遮熱することで室内温度の上昇を抑制すると共に、壁面自体の温度上昇が低減されるため、劣化要因の一つである熱劣化を抑制します。さらに下地基材の熱による膨張収縮も緩和します。

水性	低汚染・超耐久型水性ふっ素樹脂系遮熱塗料 水性クールテクトF	弱溶剤	低汚染・超耐久型ふっ素樹脂系遮熱塗料 クールテクトF
	低汚染・超耐久型水性アクリルシリコン樹脂系遮熱塗料 水性クールテクトSi		低汚染・超耐久型アクリルシリコン樹脂系遮熱塗料 クールテクトSi

## クールテクト工法は、太陽熱光線の反射性能に優れています。(高反射性)



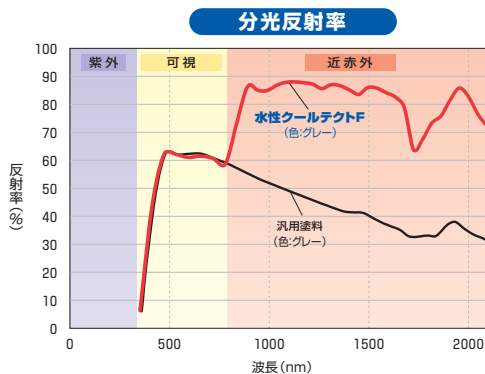
### 《モルタル、コンクリート改装下地の場合》



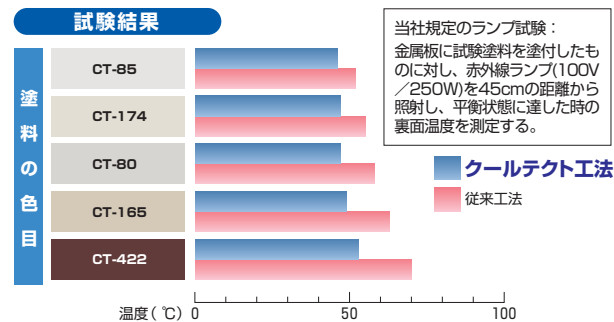
※サイディング下地、鋼板、金属サイディング下地は別仕様になります。

## 幅広い色相で優れた遮熱性を発揮

熱線反射機能を持つ上塗材は太陽光のうち、近赤外線(熱線)を高反射し、幅広い色相範囲で夏季の熱暑から躯体の温度上昇を抑制し、冷房負荷を削減します。(遮熱効果は色により異なります)



## 色別の遮熱性能比較 (当社規定のランプ試験による)



## サーモグラフィーで分かる温度差

### ■試験条件

測定日: 2009年8月  
場所: 当社技術研究所 屋上(大阪府)  
天候: 晴れ 最高気温:  $33^{\circ}\text{C}$   
外壁: ALC

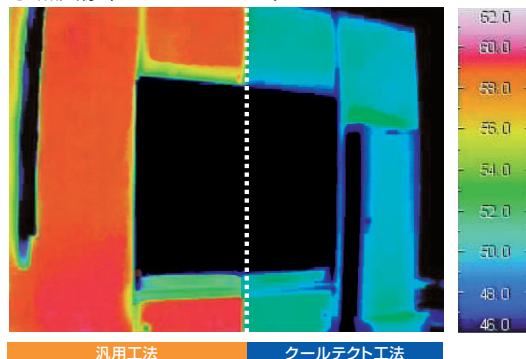
### ● 可視画像



### ■試験概要

塔屋(ペントハウス)南面の外壁に一般塗料(写真左)とクールテクト工法(写真右)をそれぞれ塗装し、夏期日中の外壁表面の温度上昇をサーモグラフィーで撮影。結果、最大約 $11^{\circ}\text{C}$ の温度差が確認されました。

### ● 熱画像(サーモグラフィー)



# 減し、室内の省エネに貢献します。<sup>注)</sup>

上塗りにはアクリルシリコン樹脂系塗料、あるいはふっ素樹脂系塗料を採用しているため優れた耐候性を示します。さらに下塗りのサーフェーサーにも耐候性の高いアクリルシリコン樹脂系塗料を採用しているため、耐久性に優れ、メンテナンスサイクルを飛躍的に伸ばすことができます。

注. 省エネ効果は、建物の構造、断熱材の使用状況、立地条件、塗装仕様などにより異なります。  
※ 屋根には屋根用遮熱塗料としてクールタイトシリーズがあります。併せてご検討ください。

## 高耐久性

上塗りには架橋タイプのアクリルシリコン樹脂エマルジョンや、ふっ素樹脂エマルジョンをバインダーに採用しているため、強靱な塗膜を形成し、紫外線などの塗膜劣化要因に対して優れた抵抗性を示します。また、遮熱機能により表面温度が低減されるため、熱による劣化抑制にもつながります。

## 防水性 (水性クールテクトサーフ)

微弾性を示す下塗り層が、旧塗膜に発生しているひび割れ、巣穴などを覆い、防水性の向上につながります。

## 幅広い塗り替え適性 (水性クールテクトサーフ)

微弾性を示す下塗り層が、各種旧塗膜と強固に付着するため、塗り替えに最適です。また、断熱性能の高い下地基材の塗り替えにも、遮熱による表面温度の低減があり、塗膜の膨れ抑制につながります。

## 防かび・防藻性

特殊設計により、かびや藻類などの微生物汚染を防ぎ、衛生的な環境を維持します。

## 適用下地

モルタル、コンクリート、窯業系サイディング、鋼板、金属サイディング

旧塗膜：エマルジョンペイント、リシン、スタッコ、吹付タイル、単層弾性塗材等の活膜下地

### <改装>

基 材	下 塗 り	上 塗 り
モルタル、コンクリート、PC部材	水性クールテクトサーフ	水性クールテクトSi/F
	クールテクトプライマー	クールテクトSi/F
窯業系サイディング	水性クールテクトプライマー	水性クールテクトSi/F
	クールテクトプライマー	クールテクトSi/F
鋼板、金属サイディング	クールテクトプライマー	クールテクトSi/F

※1 基材により、下塗材の種類が変わります。

※2 基材が鋼板、金属サイディングの場合は、弱溶剤タイプのクールテクトSi/Fをご使用ください。

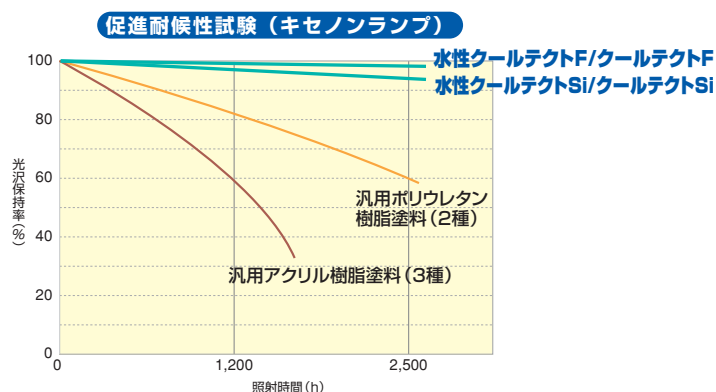
※3 水性クールテクトサーフの上塗りに、弱溶剤タイプを施工することはできません。

※4 旧塗膜の種類によっては、別途下地処理が必要な場合があります。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。

### <新築>

基 材	下 塗 り	上 塗 り
モルタル、コンクリート	水性クールテクトプライマー (水性クールテクトサーフ)	水性クールテクトSi/F
鋼板、金属サイディング	クールテクトプライマー	クールテクトSi/F

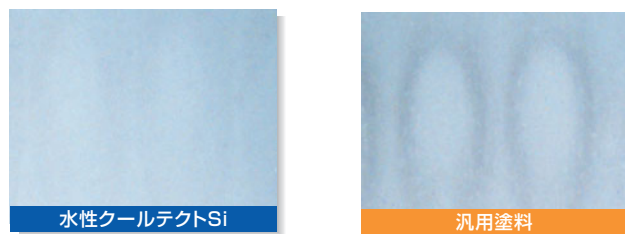
※1 PC部材の新築仕様は別途お問い合わせください。



## 低汚染性により遮熱効果を持続

低汚染性にも優れているため、長期に亘り遮熱性を維持します。

### 【汚染性比較：屋外暴露6ヶ月】



## 荷姿

### 【下塗り層】

- 水性クールテクトサーフ(白) 16kg石油缶(10~53m<sup>2</sup>/缶)
- 水性クールテクトプライマー(白) 15kg石油缶(50~150m<sup>2</sup>/缶)
- ★クールテクトプライマー(白) 16kgセット(主剤12.8kg,硬化剤3.2kg)(94~114m<sup>2</sup>/セット)  
4kgセット(主剤 3.2kg,硬化剤0.8kg)(24~28m<sup>2</sup>/セット)

### 【上塗り層】

- 水性クールテクトSi(艶有り,3分艶) 16kg石油缶(45~53m<sup>2</sup>/缶)・4kg缶(12~13m<sup>2</sup>/缶)
- 水性クールテクトF(艶有り,3分艶) 16kg石油缶(45~53m<sup>2</sup>/缶)・4kg缶(12~13m<sup>2</sup>/缶)
- ★クールテクトSi(艶有り,3分艶) 15kgセット(主剤13.5kg,硬化剤1.5kg)(50~57m<sup>2</sup>/セット)  
4kgセット(主剤 3.6kg,硬化剤0.4kg)(14~15m<sup>2</sup>/セット)
- ★クールテクトF(艶有り,3分艶) 15kgセット(主剤13.5kg,硬化剤1.5kg)(50~57m<sup>2</sup>/セット)  
4kgセット(主剤 3.6kg,硬化剤0.4kg)(14~15m<sup>2</sup>/セット)

注1) クールテクトF、クールテクトSi、クールテクトプライマーの可使用時間は5時間(20℃, 65%RH)です。  
注2) 上記の標準塗坪は一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

## 用途

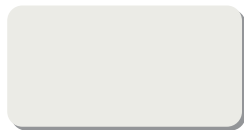
- 戸建て住宅、マンションの外壁
- 店舗、事務所、工場、倉庫などの外壁
- 学校など公共施設の外壁

### ●危険情報と安全対策

製品の取り扱い、それぞれの製品安全データシート(MSDS)に従ってください。特に★印のついている製品は溶剤形の製品であるため、下記の点にご注意ください。  
1. 引火性の液体のため、火気厳禁です。  
2. 有機溶剤中毒のおそれがあるため、換気に注意し、防毒マスクまたは、送気マスクを使用するなどの安全対策を行ってください。  
3. 施工においては、溶剤成分が室内に流入しないように十分注意してください。



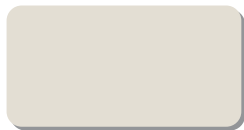
標準色



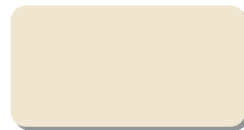
★ CT-103



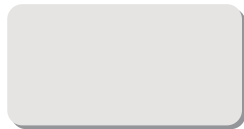
★ CT-410



★ CT-174



★ CT-164



★ CT-85



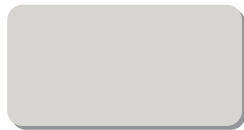
★ CT-407



★ CT-175



★ CT-133



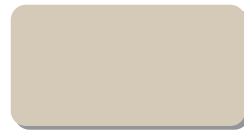
CT-80



CT-409



CT-108



CT-165



CT-75



CT-104



CT-168



CT-113



CT-70



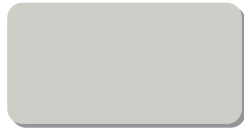
CT-406



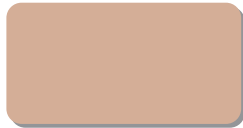
CT-169



★ CT-403



CT-177



CT-412



※ CT-132



CT-404



CT-420



CT-416



※ CT-422



※ CT-423

●印刷のため実際の色目とは異なります。実際の色目に関しては、見本帳でご確認ください。

- ※印は材料費が割高になりますのでご了承ください。
- 同じ色めで従来工法と比較した際の温度差は、明度、彩度が低い色ほど差がでてきます。
- ★印の色は淡彩色のため、従来工法と比較した際の遮熱効果は小さくなります。詳しくは最寄りの営業所へお問い合わせください。
- 掲載色以外で遮熱性を発揮する色もあります。詳しくは別途お問い合わせください。

# 標準施工仕様（改装仕様）

## 《モルタル・コンクリート下地+旧塗膜》

（薄付け仕上げ）

（20℃、65%RH）

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗 回 数	間 隔 時 間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
1	下地調整							—
2	※1 下塗り	水性クールテクトサーフ	100	0.30~1.0	1~2	3以上	3以上	—
		清水	5~8					
3	※2,3 上塗り	水性クールテクトSi/F	100	0.30~0.35	2	2以上	—	24以上
		清水	0~20					

〈下地のパターンを生かす〉



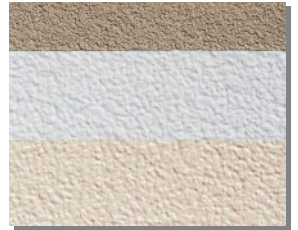
薄付け仕上げ

（厚付け仕上げ）

（20℃、65%RH）

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗 回 数	間 隔 時 間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
1	下地調整							—
2	※1 下塗り	水性クールテクトサーフ	100	0.8~1.5	1~2	6以上	6以上	—
		清水	2~5					
3	※2,3 上塗り	水性クールテクトSi/F	100	0.30~0.35	2	2以上	—	24以上
		清水	0~20					

〈下地のパターンを変える〉



厚付け仕上げ

## 《サイディング下地+旧塗膜》

【オール水性仕様】

（20℃、65%RH）

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗 回 数	間 隔 時 間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
1	下地調整							—
2	下塗り	水性クールテクトプライマー	100	0.10~0.13	1~2	2以上	2以上	—
3	※2,3 上塗り	水性クールテクトSi/F	100	0.30~0.35	2	2以上	—	24以上
		清水	0~20					

【弱溶剤仕様】

2	下塗り	クールテクトプライマー 主剤	100	0.14~0.17	1	—	6以上 14日以内	—
		クールテクトプライマー 硬化剤	25					
		塗料用シンナーA	0~10					
3	※5,6 上塗り	クールテクトSi 主剤/F 主剤	100	0.26~0.30	2	3以上 7日以内	—	24以上
		クールテクトSi 硬化剤/F 硬化剤	11.1					
		塗料用シンナーA	0~20					

## 《鋼板、金属サイディング下地+旧塗膜》

（20℃、65%RH）

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗 回 数	間 隔 時 間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
1	※4 下地調整							—
2	下塗り	クールテクトプライマー 主剤	100	0.14~0.17	1	—	6以上 14日以内	—
		クールテクトプライマー 硬化剤	25					
		塗料用シンナーA	0~10					
3	※5,6 上塗り	クールテクトSi 主剤/F 主剤	100	0.26~0.30	2	3以上 7日以内	—	24以上
		クールテクトSi 硬化剤/F 硬化剤	11.1					
		塗料用シンナーA	0~20					

【施工上の注意点】

- ※1. 旧塗膜の劣化状態によりシーラーや目荒しが必要な場合があります。詳しくは最寄りの各営業所にお問い合わせください。
- ※2. 清水での希釈率は、色目及び施工時の気温により変化することがありますのでご了承ください。
- ※3. 清水での希釈率はスプレー塗り時で「10~20」、ローラー・刷毛塗り時で「0~10」となります。
- ※4. 塗膜表面の不純物除去が不十分な場合、光沢のある仕上がりを得られなかったり、経年後、塗膜の膨れ、はがれなどの原因になることがあります。また、金属露出部がある場合は発錆防止のため、水洗後の水分を直ちに拭き取ってください。
- ※5. 塗料用シンナーAでの希釈率は、色目及び施工時の気温により変化することがありますのでご了承ください。
- ※6. 塗料用シンナーAでの希釈率はスプレー塗り時で「10~20」、ローラー・刷毛塗り時で「0~10」となります。
- ※7. 旧下地がALCパネルの施工については、最寄りの各営業所へお問い合わせください。

# 標準施工仕様（新築仕様）

## 【モルタル・コンクリート下地】

（平滑仕上げ）

（20℃、65%RH）

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗回数	間隔時間(hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
1	素地調整							・下地はよく乾燥させ、含水率10%以下、pH10以下としてください。 ・付着物は完全に除去し、傷、不陸、目違いなどは補修調整してください。
2	水性クールテクトプライマー	100	0.10~0.13	1	—	2以上	—	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン
3	*1,2 水性クールテクトSi/F 清水	100 0~20	0.30~0.35 —	2	2以上	—	24以上	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン

（複層仕上げ）

（20℃、65%RH）

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗回数	間隔時間(hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
1	下地調整							・下地はよく乾燥させ、含水率10%以下、pH10以下としてください。 ・付着物は完全に除去し、傷、不陸、目違いなどは補修調整してください。
2	水性クールテクトプライマー	100	0.10~0.13	1	—	2以上	—	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン
3	水性クールテクトサーフ 清水	100 2~5	0.8~1.5	1~2	6以上	6以上	—	マチックローラー
4	*1,2 水性クールテクトSi/F 清水	100 0~20	0.30~0.35 —	2	2以上	—	24以上	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン

## 【鋼板、金属サイディング下地】

（20℃、65%RH）

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗回数	間隔時間(hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
1	素地調整							・被塗装表面のミルスケール、ほこり、油脂分、水分などを除去し、清浄にしてください。 ・さびや粉化物はサンドペーパーやディスクサンダーなどで十分に除去してください。
2	下塗り	クールテクトプライマー 主剤 クールテクトプライマー 硬化剤 塗料用シンナー-A	100 25 0~10	0.14~0.17 —	1	—	6以上 14日以内	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン
3	*3,4 上塗り	クールテクトSi 主剤 クールテクトSi 硬化剤 塗料用シンナー-A	100 11.1 0~20	0.26~0.30 —	2	3以上 7日以内	— 24以上	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン
3'	*3,4 上塗り	クールテクトF 主剤 クールテクトF 硬化剤 塗料用シンナー-A	100 11.1 0~20	0.26~0.30 —	2	3以上 7日以内	— 24以上	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン

### 【施工上の注意点】

- ※1. 清水での希釈率は、色目及び施工時の気温により変化することがありますのでご了承ください。
- ※2. 清水での希釈率はスプレー塗り時で「10~20」、ローラー・刷毛塗り時で「0~10」となります。
- ※3. 塗料用シンナー-Aでの希釈率は、色目及び施工時の気温により変化することがありますのでご了承ください。
- ※4. 塗料用シンナー-Aでの希釈率はスプレー塗り時で「10~20」、ローラー・刷毛塗り時で「0~10」となります。
- ※5. 下地の種類によっては、下塗材の選定が必要になります。特に押出成形セメント板、GRC板、PC部材などには、下塗材として★マイルドシーラー EPO（14kgセット）をご使用ください。
- ※6. ALCパネルへの施工については、最寄りの各営業所へお問い合わせください。

### 【改装・新築共通の施工上の注意点】

- ・強風時、または降雨、降雪のおそれがある場合、及び気温5℃以下、湿度85%以上の施工は原則的に避けてください。気温5℃以下で施工が要求される場合は、探暖及び探暖のための養生により、雰囲気温度、被塗面温度を5℃以上としてください。
- ・材料は規定の範囲内の希釈を厳守し、電動ミキサーなどを用いて内容物が均一になるよう十分に攪拌してください。
- ・シーリング材の上へ施工する場合、シーリング材の種類、材齢により、塗膜が密着しないことや汚染することがあります。詳しくは最寄りの営業所までお問い合わせください。
- ・間隙が広いなど、大きな動きが予想されるシーリング打設部への塗装は、塗膜がひび割れる可能性がありますので、なるべく避けてください。
- ・陶磁器タイル洗浄用の酸が塗装面に付着すると、変色や溶解などの異常を生じることがありますので、これを防止するため、予め塗装面の養生を行ってください。
- ・著しく結露が生じるような場所では、塗膜の膨れ、はく離、白化、しみの発生につながる場合がありますので、使用を避けてください。
- ・既存塗膜のはく離箇所は、既存のパターンに合うように既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- ・防藻、防かび性は繁殖の抑制の効果を示すものです。すでにかびや藻が付着している場合は、これらを除去するなどの適切な下地処理をしてから塗装してください。
- ・かび、藻が付着している場合は、「SKKカビ除去剤#5」にて拭き取ってください。
- ・塗り重ね時間は環境（温度、湿度、換気、風通しやすさ）や膜厚によって変わります。
- ・低温又は高湿度時には、乾燥が遅くなりますのでご注意ください。
- ・補修塗りの際、仕上がりの違いにより、若干の色相差を生じることがありますので、部分的に仕上がり性を確認した上で希釈量等を決定してください。
- ・刷毛で補修塗りを行う際、スプレー塗りやローラー塗りとは仕上がりの違いによる若干の色相差を生じることがあります。
- ・艶調整品（3分艶）は、被塗物の形状、膜厚や色相、塗回数、希釈率の差などにより、実際につやや若干異なって見える場合があります。また、刷毛・ローラー塗装時に塗継ぎ箇所で艶ムラを生じやすい傾向があります。試し塗りの上、本施工に入ってください。
- ・クールテクトSi/Fは、異なる色相で塗り重ねる場合、2回目の上塗り1回目の上塗りを溶かし、ラインや帯がにじむ場合がありますのでご注意ください。
- ・濃色や原色に近い色彩は、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類などが触れる可能性がある部位への施工は避けてください。
- ・上塗りにイエロー、レッド、ブルー、グリーン系など彩度の高い色目を塗装する場合は、隠れ性を高めるため、予め隠れ性の良い共色を塗装してください。
- ・最終養生の時間内に、降雨、結露などがあれば、塗膜の膨れ、はく離、白化、しみの発生につながる場合がありますので、塗装を避けるか強制換気などで表面の水分を除去してください。なお、シミが発生した場合は、乾燥後に水拭きなどで除去してください。
- ・上塗材は所定の乾燥時間（最終養生時間）を厳守してください。施工後、塗膜が乾燥するまでの時間内に降雨などにより長時間、水分がかかった状態になりますと、所定の低汚染機能が発揮されない場合があります。低汚染機能は、乾燥後の塗膜が発揮されるため、乾燥過程で降雨などが予想される場合は、シート養生を行うなどして、塗膜表面に雨があたらないよう、所定の乾燥時間を厳守してください。
- ・施工当日に降雨、降雪、結露が予想される場合は、施工を中止してください。また、気象の急変などにより、施工中、施工後に降雨が生じた場合はシート養生などを行い、塗膜に直接雨が当たらないようにしてください。
- ・施工部位により、低汚染率が十分に発揮されないケースがあります。特に、傾斜壁の下端部、笠木など、水切りのない部位、窓廻りなど水切りが不十分な場合、雨が当たらない部位は、注意が必要です。
- ・上塗材はむらなく均一に塗付してください。低汚染機能を発揮するためには、塗付量の確保が重要な事項です。特に凹部に塗り残しができるよう、注意してください。また、タッチアップに使用する上塗材の主剤、硬化剤は予め良く振り、沈降分離していないものを必ず計量器を用いて計量し、電動ミキサーなどで十分に攪拌（2分以上）したものを使用し、製品容器に記載の可使用時間以内に使い切るようにしてください。
- ・鉄さび・シーリング材などが原因の汚染物質に対しては、低汚染機能が十分に発揮されません。
- ・クールテクトSi/Fは、ゴムやプラスチック等、可塑性を含む部位に直接触れると軟化や剥離を生じることがありますので、そのような場所への塗装は避けてください。また、アルコールや油脂分（人の手など）が付着すると塗膜が軟化し、色移りすることがありますのでご注意ください。



本社 大阪府茨木市中穂積3-5-25 ☎072-621-7733  
 東京支社 東京都新宿区高田馬場1-31-18 ☎03-3204-6601 国際事業本部 ☎072-621-7727  
 札幌支店 ☎011-784-4000 東京支店 ☎03-3204-6601 埼玉支店 ☎048-686-2391 名古屋支店 ☎052-561-7712 広島支店 ☎082-278-4951  
 仙台支店 ☎022-259-2431 千葉支店 ☎043-304-0411 横浜支店 ☎045-820-2400 大阪支店 ☎072-621-7721 福岡支店 ☎092-629-3427  
 旭川営業所 ☎0166-51-8094 東京営業所 ☎03-3204-6601 静岡営業所 ☎054-284-1877 大阪住宅開発営業所 ☎072-621-7747 福岡営業所 ☎092-622-5561  
 青森営業所 ☎017-762-3855 東京住宅開発営業所 ☎03-3204-6602 浜松営業所 ☎053-462-7021 南大阪営業所 ☎072-253-1910 岡山住宅開発営業所 ☎092-622-5562  
 盛岡営業所 ☎019-654-8380 東京開発本部 ☎03-3204-6603 三河営業所 ☎0564-28-1614 神戸営業所 ☎078-671-0451 大分出張所 ☎097-523-2861  
 郡山営業所 ☎024-962-7673 千葉住宅開発営業所 ☎043-304-0413 北陸営業所 ☎076-266-1041 姫路出張所 ☎0792-33-7371 長崎営業所 ☎095-887-0871  
 新潟営業所 ☎025-285-6551 埼玉営業所 ☎048-686-2391 名古屋営業所 ☎052-561-7712 岡山営業所 ☎086-242-5520 熊本営業所 ☎096-344-5650  
 前橋営業所 ☎027-265-4100 埼玉住宅開発営業所 ☎048-686-2391 名古屋住宅開発営業所 ☎052-561-7712 広島住宅開発営業所 ☎082-278-4951 鹿児島営業所 ☎099-284-5321  
 長野営業所 ☎026-239-6210 城東営業所 ☎03-3877-7770 岐阜営業所 ☎056-273-1981 山口営業所 ☎083-924-7575 宮崎出張所 ☎0985-61-7779  
 松本出張所 ☎0263-40-3644 三多摩営業所 ☎042-564-5806 三重営業所 ☎059-236-5101 高松営業所 ☎087-865-5411 沖縄営業所 ☎098-862-5041  
 水戸営業所 ☎029-251-6515 東京住宅開発営業所 ☎045-820-5525 京都営業所 ☎075-646-3967 松山出張所 ☎089-968-7240  
 宇都宮営業所 ☎028-633-9721 厚木営業所 ☎046-294-3666 大阪営業所 ☎072-621-7722 北九州営業所 ☎093-621-8505  
 大利根工場・埼玉工場・神奈川工場・名古屋工場・大阪工場・兵庫工場・九州工場

このパンフレットに記載の商品は、予告なしに仕様や取り扱いを変更することがあります。また、このパンフレットに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。特記仕様がある場合は、これを最優先にしてください。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。

URL <http://www.sk-kaken.co.jp>

特約販売店